

東大和三中だより

令和7年10月7日

10月号 (No.6)

発行 東大和市立第三中学校



『地球が泣いている』～『未来は君たちに託されている』

校長 中屋 珠美

『地球が泣いている』といつもと違う重い担任の先生の声で授業が始まりました。「人間が自分本位に利潤を求め本来の自然と共生することを忘れた結果、公害や自然破壊が進み、自然災害が各地で起こり始めていること。これからも起こり続けるであろう様々な災害についてどうすべきか」を考える授業で、私が小学4.5年生くらいの時でした。

私は大きな災害が起きるたびにこの授業のことを思い出します。ここ数年間で日本でも大きな自然災害が起こっています。大型台風の到来、阪神淡路大震災以降続く日本各地での大震災…。地球の温暖化による気温の上昇は生態系を脅かし自然界のバランスが崩れ始め、人間の生活スタイルや食などにも影響が出ています。もちろんテクノロジーの進化を駆使し、様々な分野で対策を立て、解決を図っているのも事実です。災害については、科学的根拠に基づく予報の速さと正確さは昔と比べものになりませんし、被害を想定した対応もアップデートされています。スマホ画面に『災害速報』も配信され、誰もが情報を入手しやすくなっています。

しかし現実問題として、阪神淡路大震災は30年たった今でも『見た目』は復興が進んでいますが、震災当時の様子が色濃く残っているところもあります。東日本大震災や能登半島地震については、言わずもがな、です。そして何より災害を受けた人たちの中には、家族や友人、代々住み続けた故郷を失った方も多く、その方たちの気持ちを思うと胸がつぶれそうです。いまだに課題は山積なのです。

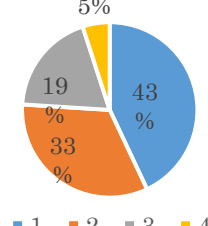
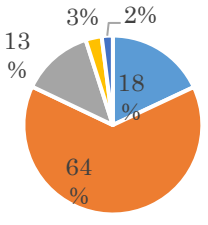
日本人は古よりどんな時も地域住民が力を合わせて、災害から復興に向けて力強く立ち上がってきています。研究者によると南海トラフ地震や首都直下地震は、遠い未来に起こることではないようです。東大和でも大きな災害があった場合、私は地域の方に愛され育てられている君たちだからこそ、地域に貢献できる人に育ててほしいのです。みんなで力を合わせながら1歩踏み出す人になってほしいのです。そのために毎年PTAや青少対、東三会のご協力のもと地域の方も含めて防災訓練を行ってきました。10月5日(日)は東大和市主催の大掛かりな防災訓練が本校で行われます。今年度の防災訓練は、自衛隊始め多くの団体も参加します。地域の方と一緒に学び、地域の大きな力になる為にしっかり力をつけてもらいたいと思います。午前授業ですが、各学年の必須体験以外も興味がある体験に参加してください。一度体験しておくことで、見通しを持ってすべきことを理解しながら活動できます。

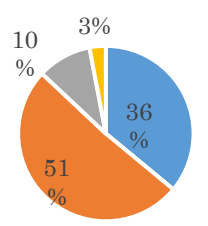
『地球が泣いている』の授業の最後に担任の先生は、『大人も今できることを一生懸命取り組んでいます。でもこれからの未来は君たちに託されている。今日考えたこと話し合ったことを忘れずに大人になってください。地球が笑顔になるようにきっとできるはず。』と言って深々と頭を下げました。

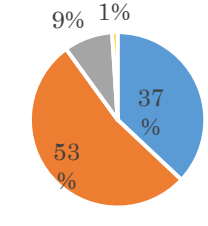
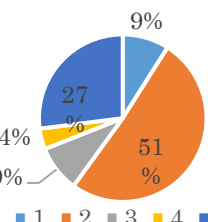
生徒・保護者アンケートの結果について

1学期の保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。生徒及び保護者アンケートの結果の一部を紹介いたします。今回の結果を踏まえ、よりよい学校づくりを進めてまいりますので、引き続き、ご協力の程、お願いいたします。

★1:とてもよくあてはまる 2:あてはまる 3:ややあてはまらない 4:あてはまらない 5:わからない

生徒	私は毎日、学校に来るのが楽しい。	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>生徒</p>  </div> <div> <p>保護者</p>  </div> </div>
保護者	子どもは楽しく学校生活を過ごしている。	
結果	生徒の76%、保護者の82%が肯定的回答をしています。	
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動や体験的活動等の充実により、生徒がより一層、主体的に学校生活を過ごせるようにするとともに、満足感や達成感を味わえる教育活動を工夫する。 ・学級満足度調査やいじめアンケート等の結果を生かし、学級や生徒の実態を的確に捉え、誰にとっても過ごしやすい教室環境をつくっていく。 ・否定的回答をした生徒に対しては、担任やスクールカウンセラーが丁寧に気持ちを聞き取り、悩みや不安の解決に向けた具体的な取組を行う。 	

生徒	数学は少人数授業で、自分の学力に合った授業が行われているので分かりやすい。	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div> <p>生徒</p>  </div> </div>
結果	今年度から数学で、少人数習熟度別授業を実施していますが、87%の生徒が肯定的な回答をしています。各コースの実態に応じて、個に応じた指導を充実させたり、既習事項を復習したりするなどの工夫により、多くの生徒が分かりやすいと感じています。	
今後の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「発展コース」、「標準コース」では、1つの課題に対して多様な方法を考え解決させたり、話し合ったり、教え合ったりするなどの活動を行い、指導の個別化を図る。 ・「基本コース」では、学習の遅れやつまずきのある生徒に対して、必要に応じて、前学年までの既習事項の学び直しや反復学習などによる補充的な指導を行う。 	

生徒	三中は安心して安全な学校生活が送れるところだ。	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>生徒</p>  </div> <div> <p>保護者</p>  </div> </div>
保護者	いじめ未然防止への取組、早期発見・対応など、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。	
結果	生徒の肯定的な回答の割合は90%ですが、保護者の肯定的な回答の割合は60%であり、30%の差があります。また、27%の保護者は、「わからない」と回答している。	
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士のトラブルの際には、丁寧に聞き取りを行い事実確認するなど、迅速に対応する。 ・いじめは、いつでもどこでも起こりうるとの認識のもと、教員が普段から生徒の様子や人間関係を丁寧に見取り、「いじめ見逃しゼロ」を目指す。 ・いじめ防止の取組について、学校便りや学校ホームページ等で保護者に積極的に周知する。 	

生徒会役員選挙

令和7年10月3日(金)に、生徒会役員選挙が行われました。校長先生からは、「選ぶ責任、選ばれる責任」との話がありました。立ち合い演説会では、代表推薦者と立候補者の演説があり、どの演説も素晴らしい内容でした。今後も第三中学校の中心となる生徒会役員の活躍を期待しています。



校外学習を終えて

9月12日(金)、1年生は上野及びその周辺地域への校外学習に出かけました。生徒たちは、博物館等でタブレット端末などを使いながら、熱心に見学していました。国宝や重要文化財を含む多くの美術品に触れることができ、充実した学びとなりました。今回の学びを生かして、次の学習につなげてほしいと思います。



